

文12とよめ①り②けれ③ば、
みんな人、
乾飯の上に涙落として④ほどび
にけり。
⑤

問一

傍線部①の「り」は完了の助動詞「たり」と同様、次の二つの意味を持つ。ここではどちらの意味で使われているか。

ア 完了(～してしまつた・～た)

※の瞬間に注目

イ 存続(～ている・～てある)

※の後の状態に注目

問二

傍線部②は過去の助動詞で、終止形は「けり」である。ここでは何形になつているか。なお、「けり」はラ変型で、「けら」○「けり」「ける」「けれ」一〇」と活用する。

ア 未然
オ 已然

イ 連用
ウ 終止
エ 連体

文12とよめ ①り ②けれ ③ば、 みな人、
乾飯の上に涙落として ④ほどび
にけり。 ⑤

問三 傍線部③の「ば」は次の三つの訳を持つ。この場合はどれ？

アもしどならば

※已然形 + 「ば」

イうので

※已然形 + 「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、
「ば」の下の出来事が起こった。

ウうすると・うしたところ

※已然形 + 「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、
「ば」の下の出来事が

たまたまが起こった。

文12とよめ ①り ②けれ ③ば、 みんな、
乾飯の上に涙落として ④ほどび
にけり。

問四 傍線部④について

(一) 終止形は「ほどぶ」へ「潤
ぶ」。適切な訳は次のどれか。

アふやける イ塩辛くなる
ウ食べられなくなる エはねる

(2) 主語は次のどれか。

ア みな人 イ 乾飯 ウ 涙

文12とよめ①り②けれ③ば、みんな人、

乾飯の上に涙落として④ほどび
にけり。

問五

傍線部⑤のように、「にけり」とある場合は、「だいたいの場合、「に」（完了の助動詞「ぬ」）が活用したもの）+「けり」（過去の助動詞）で、「くてしまつた」と訳すが、この傍線部⑤もこれだ。この「に」は完了の助動詞「ぬ」の何形か。（完了の助動詞「ぬ」はナ変型「なにぬぬるぬれね」で活用する。）

ア已然

イ連用

ウ終止

エ連体

オ已然

カ命令

文12とよめ①り②けれ③ば、
みなし人、
乾飯の上に涙落として④ほどび
にけり。
⑤

問六 「唐衣…」の歌を聞いて、「み
な人」が泣いたことをふまえ
るとどちらの可能性が高いと
言えるか。

ア都に恋しく思う人を残しているの
は歌を詠んだ男だけだつた。
イみな、都に恋しく思う人を残して
いた。

問七 「唐衣…」の歌と「乾飯の上に
涙落としてほどびにけり」と
いう表現に共通する特徴は次
のどちらか。

ア悲しみをストレートに表現してい
る。

イ悲しみを格調高く美しく表現して
いる。

ウおかしさの中にじむ悲しみを描
いている。

このページは空白ページです